



日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

JANUARY 2022
REPORT MAGAZINE

会報誌 | vol. 56 no. 1

Ichimura Building 3F, 3-2 Kanda-Ogawamachi, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0052

e-mail:office@jaip.jp

New Year Message

As I write this near the end of December the number of cases of Covid in Japan are again on the rise after several months of remarkably low numbers. I think that must have fooled us into thinking that the “end” of Covid was near and that 2022 would be the year we all return to “normal.” And who knows? May that will be the case.

All of this, of course, has had a dampening effect on the activities of our organization. In fact, there have been no activities apart from the Annual General Meeting in May. We had hoped to have a New Year party this month but the uncertainty of the spread of the omicron variant made us rethink that. However, we are still moving forward to the start of a new kind of JAIP from the beginning of the next financial year and to make that successful we'll need to have your help and cooperation. Remember – activities and events going forward will depend on the members suggesting them, planning them and executing them.

I'm sure it will take all of us a little bit of time to get used to the new organization and how it will operate but I'm also sure that we as a group are more than capable of making it a success. I look forward to working with you to recreate JAIP so that it is both more meaningful and more enjoyable for a larger group of people. Tell me how I can help.

Best wishes for a safe and healthy New Year.

理事長 マーク・グレシャム

新年あけましておめでとうございます。

一昨年から断続的に猛威を振るってきた Covid-19 は、新たな変異株の出現もあり、収束したとはいえない状況で新年を迎えることになりました。洋書協会の活動もお

およそ2年間にわたり大きく制約を受け、協会のあり方を変えようという節目のタイミングにあたり、会員相互の交流の機会が失われ、たいへん残念に思います。少しでも早く、with コロナの状況下での新たな活動を再開できるように心待ちにしております。

さて、既にご案内のとおり、洋書協会は今年大きな変革の年を迎えます。今年は4月に予定されています総会において、定款を大きく変更して、会の名称はそのまま継続しますが、その中身を大きく変えようとしています。そのために、今、理事会のメンバーを代表して、みなさんをお願いしたいことがございます。それは、会員各社の方には、引き続き、法人会員として継続いただき、できれば、新たな運営母体となる幹事会メンバーに加わっていただきたい。また、社員や取引先の方、洋書に興味を持つ方などを、活動主体となる個人会員として幅広く勧誘していただきたいということです。そのための催事や企画には、残った資産を活用できることが昨年の総会で機関決定されています。詳しくは、理事会からご案内をさせていただきますので、是非ご協力いただけますようお願いいたします。

本年もどうぞよろしくをお願いいたします。

末筆ながら、みなさまのご健勝とご発展を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

副理事長 河村 取

新年明けましておめでとうございます。

今年はJAIPの体制が大きく変わる年です。会員の皆様に有用なセミナーなどをどんどん企画してまいりたいと思っております。

会員各社の益々のご発展をお祈りしております。

本年もよろしくようお願い申し上げます。

理事 山川 真一

新年あけましておめでとうございます。

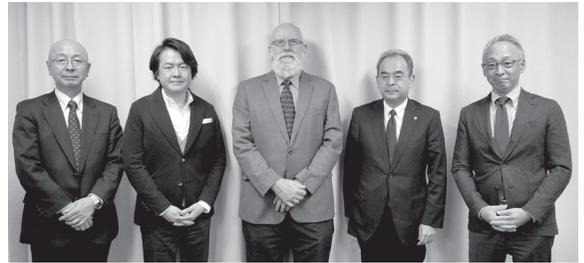
コロナ禍でおおよそ2年ほど、協会の活動や様々な業界イベントも思うように開催できておりませんが、2022年は新体制への移行年でもあり、協会の新たな門出となりますよう祈念しております。本年も協会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

理事 松村 達生

明けましておめでとうございます。昨年はコロナに翻弄された年でしたが、今年は洋書協会が新たに生まれ変わる年となります。皆さまの飛躍の年でありますよう心

よりお祈り申し上げます

理事 阿部 英徳



理事会報告 2021年12月2日(木) MHM社にて

出席者：グレシャム、河村、山川、松村、阿部、平野(総務)、正田(事務局) 以上敬称略

1. 書記 阿部

2. 新年会の是非について、

22年1月13日(木)出版クラブに予約を入れてあるが、コロナの変異株流行の兆しもあり今後が不透明なため延期で決定。状況が好転していたなら、4月に総会の後に懇親会としてやることを会員に伝える。

その際の会費については、会員は無料、会員外は有料で。

総会について

これまで5月の開催だったが、決算の承認だけなら4月中旬でも可能。上記のように4月15日(金)を予定。各委員会に割り当てた50万の消化についてはかなりの金額を持ち越すことになるが、何のために持ち越すか、使用目的をはっきりするよう、3月18日の理事会前に各委員会から案を出してもらい理事会で承認の運びとしたい。

3. 来期の体制について

①新体制は8社以上の幹事で構成するが、まず、現在の理事各社の継続を基本にする。

②立候補してもらおう。

③ルールを決めて。先の選挙で一票以上獲得した会員に理事会からお願いにあがる。そのために説明書(要請文)が必要。河村理事と事務局で案を作ってもらおう。

4. 委員会報告

- 総務委員会：活動できていないので特に無し
- メディア・広報委員会：秋に1回打合せ 会報の新年号については1月予定。ダイレクトリーのデジタル化について。発信するのに何をを使うか共有

し理事会で決定の必要あり。

- 文化・厚生委員会：新会員募集の呼び水としてのパーティー、イベントを計画中。
- 事業委員会：10月29日(金)、30日(土)の2日間、東京古書会館洋書まつりに参加。両日とも約400名の入場者数。JAIP各社合計の売上約58万円。参加社は以下の通り：丸善雄松堂、MHM(フランス図書)、絵本の家(岩崎書店)、フォリオス、三善
- 事務局：定期の解約。三菱UFJに振替済。3月末残高500万弱の見込み

会報の新年号に新体制のアイデアを募集してはどうか。前述の呼び水となるパーティー、新会員募集のための新サイト開設、SDGsを見据えた取り組み等

新会員募集については勧誘を早く開始したい。個人情報にふれないよう、氏名、メールアドレスの登録のみ。

情報の発信のためにLINEのグループは作ってあるが、Twitterで拡散する方法もある。

年内に河村副理事も参加してメディア・広報主催の委員長会議で具体的な案を練る。

公告

2022年度の総会は4月15日(金)午後4時～出版クラブで行う。事務所は下記に移転した。
〒101-0052 千代田区神田小川町3-2 市村ビル3F

洋書まつり

恒例の『神保町ブックフェスティバル』は、コロナ禍での実施が困難との理由で今年も中止が発表された。毎年ゴールデン・ウィークに開催の『上野の森 親子ブックフェスタ』も昨年に引き続き中止となり、ダメージのある本をセール価格で売るチャンスがすっかりなくなりました。

「世の中がこんな状況では仕方がないね。」と、あきらめムードだったところに『洋書まつり』参加の案内が届いた。場所は神保町の東京古書会館で、開催日は10月29日(金)～30日(土)の2日間。搬入・設営は10月28日(木)午後で、撤収作業は10月30日終了後。レジ手伝い等があるので、当日は人員1名以上参加。30日終了後にスリップを集計してその場で精算との事だ。大分前に参加した事があるとの社内情報はあったが、詳しく覚えているスタッフはいない。搬入・搬出時の荷物はどう運ぶ? 設営・販売の人員確保は? などなど、様々な? が頭をよぎる。三善の阿部社長にたくさんご助言いただき、商品部の小向さんが参加への段取りをつけてくれた。

絵本の家と、やはり今年が初参加のフォリオスさんの書棚は会場に入ってすぐの一番良い場所に設置されていた。皆さんのご配慮が大変ありがたかった。手前味噌ではあるが、こんなに良い絵本が、ダメージが少しあるとは言えバーゲン価格で購入できるのはとてもお得だ。日本洋書協会(以下JAIP)で参加されている皆さんの本も、全て信じられないほどお買い得の品ばかり! 「来てよかった!!!」と、私はいつの間にかすっかりお客様側に立っていた。

過去の会報誌によると、「洋書まつり」とは“東京古書組合が運営する、年に一度、この時期に開催される日本最大級の洋書のバーゲンセール”である。JAIPが参加したことで、新本、古書に関わらず、様々な言語の絵本やビジュアル書、さらに学術書まで幅広いジャンルをカバーして、さらに見応え十分の内容になったとの印象を持った。今回JAIPからは、丸善雄松堂、三善、MHM、フォリオス、絵本の家の5社が参加した。

さわやかな秋晴れとなった開催日。私は2日目の販売担当だったのだが、1日目と

2日目では客層がかなり違うというのを聞いてとても興味を持った。

1日目は、古書マニアや大学関係者、そして業者の方が大半。取り置きする本を板の上にタワーのように積んでじっくり選び、配送依頼も多かったという。2日目は、来場者が途切れることはなかったが、「ちょっと寄ってみた。」という雰囲気のお客様もあり、前日の熱気とはまた違った、穏やかなムードだった。

入場者記録によると、初日、2日目とも約380名。記載拒否者を合わせると2日間で800名弱、昨年よりは増えたとのことである。30日～31日には『第2回神保町ブックフリマ』の開催もあり、神保町界隈は多くの人で賑わっていた。JAIPから参加した5社の売り上げの合計は2日間で約58万円との事だ。

さて、せっかく来たのだからぜひカレーを食べようと、お昼に街に繰り出したが、人気店と思われるお店にはすでに長い列が出来ていた。あきらめて戻ろうとしたところで、“ばんび”というかわいい名前のカレー屋さんを発見! 2種類のカレーを選べるセットにしたのだが、偶然入ったにも関わらずとてもおいしかった。

また、東京古書組合の河野書店さんがお茶うけにと準備してくださったのは、なんと、まんまるのたい焼き。近くの嘉祥庵(かしょうあん)というお店のものだそうで、ほっこりとした気持ちになった。

洋書を求めている人が沢山いる! と感じる事が出来た2日間。東京古書組合、JAIPの皆様には本当にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

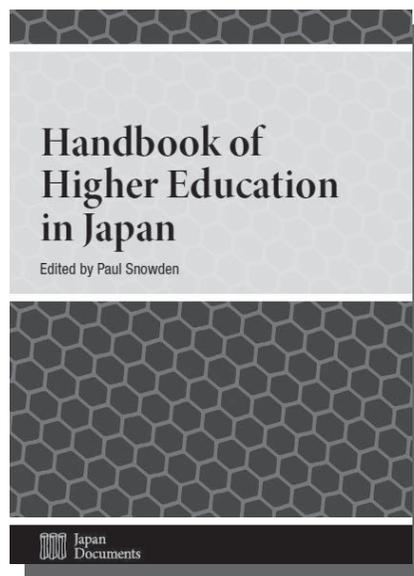
(株式会社岩崎書店 絵本の家事業部 館野 佐知子)



日本の高等教育ハンドブック

Handbook of Higher Education in Japan

Edited by Paul Snowden



中世ヨーロッパにおいて高等教育が聖職者育成という宗教的な起源をもつと同様に、日本の封建社会においても、高等教育のはじまりは宗教的なものでした。しかし、ヨーロッパでの高等教育が長い時間をかけてゆるやかに世俗的な広がりを見せていったのに対し、日本では19世紀の半ば、開国とともに西洋化が一気に押し寄せ、高等教育もまるで「ビッグバン」のようにきわめて短期間のうちに急激に進化していきました。

Japan Documents のハンドブックシリーズ第1作目となる本書は、日本の高等教育の成り立ちと経緯、そして今後の展望を25章からなる論文で紹介していきます。執筆陣は、教育学界の権威から、注目の中堅・若手の研究者まで多彩に取り揃え、多様なテーマについて最新の知識と情報を提供します。各章では、「国公立」と「私立」でそれぞれの施策の違いに注目しつつ、国際化、学生招致、学部の流動性などの重要項目について論じています。全編において豊富な参考文献を駆使していますが、従来の概観に倣う部分と、新奇でやや挑発的な意見や提言が盛り込まれている部分とがあり、それが本書の魅力となっています。

日本の高等教育についての格好の入門書であり、教育学だけでなく、日本に興味のある研究者にとっても、簡潔な情報を提供してくれる良質のハンドブックです。

September 2021 446 p. Hardback
ISBN: 978-4-909286-00-0
¥28,875 (税込)

— Forthcoming Title —

近代日本における儒教ハンドブック

Handbook of Confucianism in Modern Japan

Edited by Shaun O'Dwyer (九州大学 言語文化研究院 准教授)

January 2022 400 p. Hardback ISBN: 978-4-909286-08-6 ¥28,875 (税込)

 Japan Documents

日本総代理店：極東書店



Ichimura Building 3F, 3-2 Kanda-Ogawamachi, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0052

Tel: 03-3518-9181 Fax: 03-3518-9523

日本洋書協会会報 vol.56 No.1(通算567号) 発行日2022年1月5日 編集者 遠藤 尚子

発行所 日本洋書協会 〒101-0052 千代田区神田小川町3-2 市村ビル3F (株)MHM内

TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523 URL: <http://www.jaip.jp> E-mail: office@jaip.jp